



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東
 コード番号 3646 URL http://www.ekitan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理管掌 (氏名) 柳 象二郎 TEL 03-6367-5951
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,177	△3.5	302	△18.4	304	△17.9	195	△9.5
2019年3月期第3四半期	2,257	4.8	371	△8.1	371	△8.0	215	△11.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 195百万円 (△10.9%) 2019年3月期第3四半期 219百万円 (△10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	35.65	35.53
2019年3月期第3四半期	39.60	39.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,437	2,933	85.3
2019年3月期	3,304	2,835	85.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,933百万円 2019年3月期 2,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,264	7.5	329	△31.5	329	△31.5	220	△25.0	40.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ラテラ・インターナショナル、除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	6,888,800株	2019年3月期	6,888,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,389,116株	2019年3月期	1,410,716株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,482,012株	2019年3月期3Q	5,452,483株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2020年2月12日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な貿易摩擦や東アジアの政治情勢、消費税増税による消費の落ち込みなどの懸念材料はあるものの、国内企業の堅調な設備投資や良好な雇用環境を受けて、依然として緩やかな景気回復が続いています。

当社の創業事業である乗換案内サービスは、日常生活での人々の移動をサポートする、利用頻度の高いサービスとして世の中に広く定着しておりますが、スマートフォンの販売ルール変更の影響による、事業環境の変化が生じております。その一方で、『MaaS』(Mobility as a Service) と呼ばれる利用者の目的やし好に応じて最適な移動手段を提供し、利用者の利便性を高めるサービスが各交通機関の事業者において実証実験段階に入り、新たな市場が登場しつつあります。また、「働き方改革」に代表されるような、企業の生産性向上・業務効率化ニーズは、ますます高まりを見せております。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画において、『MaaS関連サービス』と『働き方改革に関わる業務ソリューション』を成長領域と設定し、技術開発・事業開拓の投資を積極的に進めており、当第3四半期連結累計期間において、旅行会社向けの国内外の観光ガイドブック事業や訪日外国人を対象とする販売プロモーションサービスを法人顧客に提供する事業などを行っております株式会社ラテラ・インターナショナルの全株式を取得し連結子会社といたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,177,896千円(前年同四半期比3.5%減)、営業利益は302,996千円(前年同四半期比18.4%減)、経常利益は304,967千円(前年同四半期比17.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は195,407千円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンシューマ向け事業

コンシューマ向け事業につきましては、引き続き、メディア広告・旅行業が好調に推移しましたが、従来型の月額課金ビジネスについては、スマートフォン販売ルールの変更に伴うプロモーションの環境変化への対応を進めていますが、セグメント全体としては堅調な売上推移となりました。その結果、売上高は1,445,892千円(前年同四半期比5.7%減)、セグメント利益は348,736千円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

② 法人向け事業

法人向け事業につきましては、「ラテラ・インターナショナル」を当第3四半期連結累計期間より新規連結するとともに、業務効率化ソリューションのひとつである子会社「ビジネストラベルジャパン」の売上高も計画を上回りました。その結果、売上高は732,003千円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益は193,445千円(前年同四半期比25.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,811,536千円となり、前連結会計年度末に比べ78,556千円減少しました。これは主に、売掛金の減少58,728千円、現金及び預金の減少23,044千円によるものであります。固定資産は626,328千円となり、前連結会計年度末に比べ212,269千円増加しました。これは、無形固定資産の増加138,709千円、有形固定資産の増加61,539千円、投資その他の資産の増加12,020千円によるものであります。この結果、総資産は3,437,864千円となり、前連結会計年度末に比べ133,713千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は447,069千円となり、前連結会計年度末に比べ4,885千円減少しました。固定負債は57,627千円となり、前連結会計年度末に比べ40,873千円増加しました。これは主に、資産除去債務の増加28,724千円によるものであります。この結果、負債合計は504,696千円となり、前連結会計年度末に比べ35,987千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,933,167千円となり、前連結会計年度末に比べ97,725千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加85,845千円によるものであります。この結果、自己資本比率は85.3%となり、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,407,860	2,384,815
売掛金	455,411	396,683
原材料及び貯蔵品	73	1,822
その他	26,983	28,404
貸倒引当金	△236	△189
流動資産合計	2,890,092	2,811,536
固定資産		
有形固定資産	38,533	100,073
無形固定資産		
のれん	6,044	56,243
顧客関係資産	—	88,182
その他	122,105	122,433
無形固定資産合計	128,149	266,859
投資その他の資産	247,375	259,395
固定資産合計	414,058	626,328
資産合計	3,304,150	3,437,864
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,873	109,167
1年内返済予定の長期借入金	—	12,671
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	63,641	38,798
賞与引当金	33,846	2,128
役員賞与引当金	21,266	—
移転損失引当金	24,676	—
資産除去債務	14,700	—
その他	168,950	264,302
流動負債合計	451,954	447,069
固定負債		
役員退職慰労引当金	—	14,940
資産除去債務	—	28,724
その他	16,754	13,963
固定負債合計	16,754	57,627
負債合計	468,709	504,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	303,883	304,655
利益剰余金	2,965,066	3,050,912
自己株式	△725,465	△714,357
株主資本合計	2,835,441	2,933,167
純資産合計	2,835,441	2,933,167
負債純資産合計	3,304,150	3,437,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,257,192	2,177,896
売上原価	785,800	873,873
売上総利益	1,471,392	1,304,022
販売費及び一般管理費	1,100,082	1,001,026
営業利益	371,310	302,996
営業外収益		
受取利息	87	68
未払配当金除斥益	173	118
協賛金収入	—	925
保険解約返戻金	—	933
その他	52	40
営業外収益合計	313	2,086
営業外費用		
支払利息	329	115
営業外費用合計	329	115
経常利益	371,294	304,967
特別利益		
固定資産売却益	58	—
資産除去債務取崩益	756	—
特別利益合計	814	—
特別損失		
固定資産除却損	1,412	0
移転損失引当金繰入額	41,366	—
特別損失合計	42,778	0
税金等調整前四半期純利益	329,330	304,967
法人税等	110,095	109,559
四半期純利益	219,235	195,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,321	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,914	195,407

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	219,235	195,407
四半期包括利益	219,235	195,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,914	195,407
非支配株主に係る四半期包括利益	3,321	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンシューマ 向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,532,931	724,261	2,257,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,532,931	724,261	2,257,192
セグメント利益	355,208	259,708	614,917

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	614,917
全社費用(注)	△243,607
四半期連結損益計算書の営業利益	371,310

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンシューマ 向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,445,892	732,003	2,177,896
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,445,892	732,003	2,177,896
セグメント利益	348,736	193,445	542,182

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,182
全社費用(注)	△239,186
四半期連結損益計算書の営業利益	302,996

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「法人向け事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社ラテラ・インターナショナルの全株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては54,204千円であります。